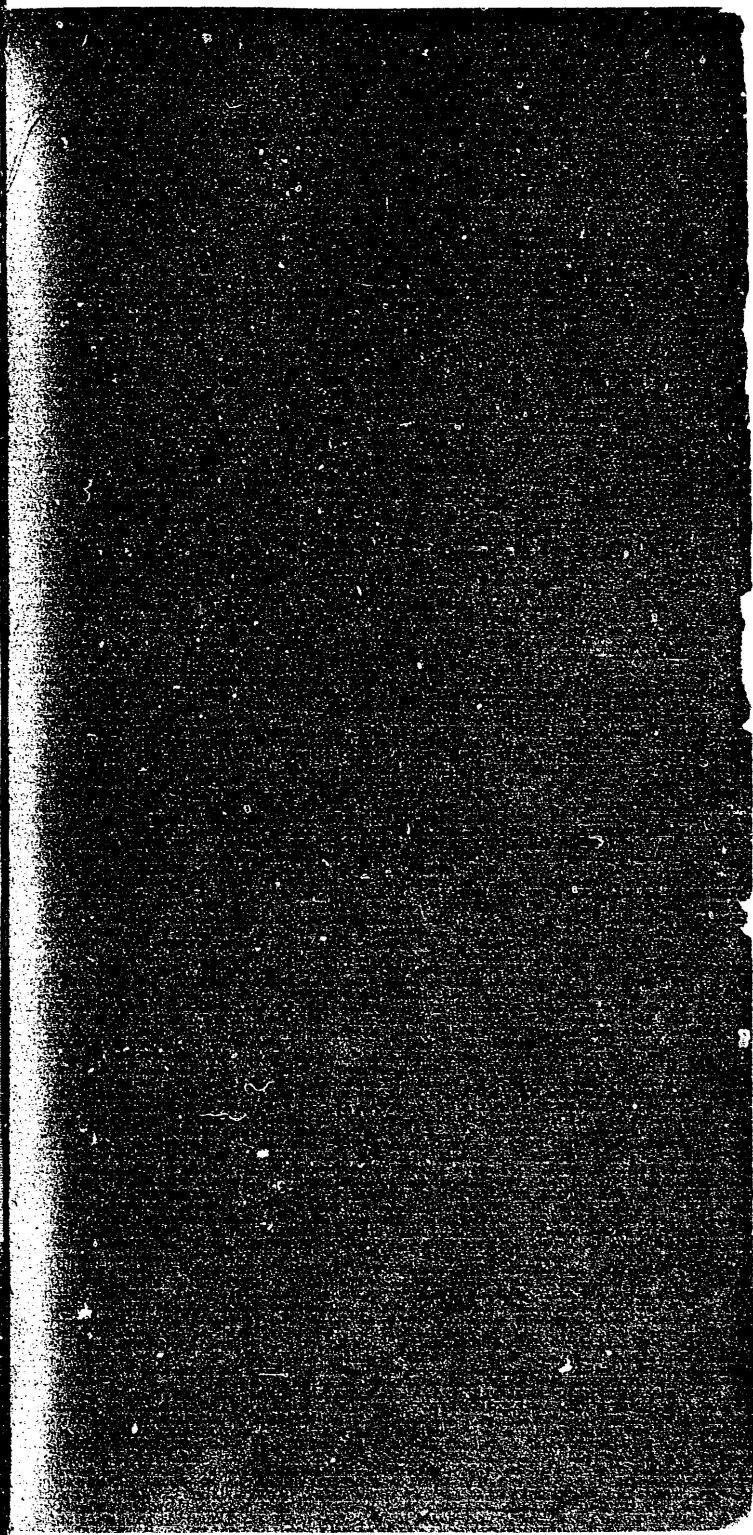


155
291

島根縣産業案内



と假定して書いてある之は旅行者の爲に實際便利と信したからである
 本篇は極めて通俗的にしたので用字も平易を旨として文章も口語體を
 用ひてある

明治四十五年四月

島根縣内務部

島根縣產業案内

目次

總説	一頁
管轄區域	
地積戸口職業	
地質及耕地	
氣候	
產業の概要	五
產業主要施設	三
農業	三
(イ)農事試驗場	
(ロ)耕地整理	
(ハ)米穀検査	
(二)農會	
(ホ)其他農業獎勵	
蠶絲業	一七
(イ)蠶種統一	
(ロ)農事講習所	
(ハ)技術者設置補助	
(ニ)製絲獎勵	
(ホ)揚返場補助	
(ヘ)蠶病豫防	
(ト)桑苗栽培補助	
畜産業	一九
(イ)種畜場	

林業

- (口) 產牛馬組合
- (ハ) 優良馬匹補助
- (ニ) 牛馬籍整理及犢駒賣買取締
- (ホ) 畜牛結核病検査
-
- (イ) 林業技術員設置
- (ロ) 縣有林
- (ハ) 縣有部分林
- (ニ) 製炭教師
- (ホ) 技術員設置補助
- (ヘ) 苗圃補助
- (ト) 樹苗配付
-
- 水産業
- (イ) 水産試験場
- (ロ) 水産講習所
-

三三

三五

工業

- (ハ) 漁業基本調査
- (ニ) 水産業奨励
- (ホ) 水産組合
-
- (イ) 機業
- (ロ) 紙業
- (ハ) 窯業
- (ニ) 醸造試験費補助
- 物産陳列所
- 測候所
- 實業教師招聘
- 雜業組合指導監督
-
- 團體組合工場
- 縣農會
- 島郡農會
-

二七

三三

町村農會	五九
産業組合	五九
水産組合	五九
漁業組合	五九
産牛馬組合	五九
同業組合	五九
商業會議所	五九
銀行會社	五九
主要生産物	五九
主要物産分布圖	五九
勸業奨勵に關する縣費支出表	六〇
郡市別特産と名所舊蹟	七一
松江市	七一
八束郡	七一
能義郡	七一

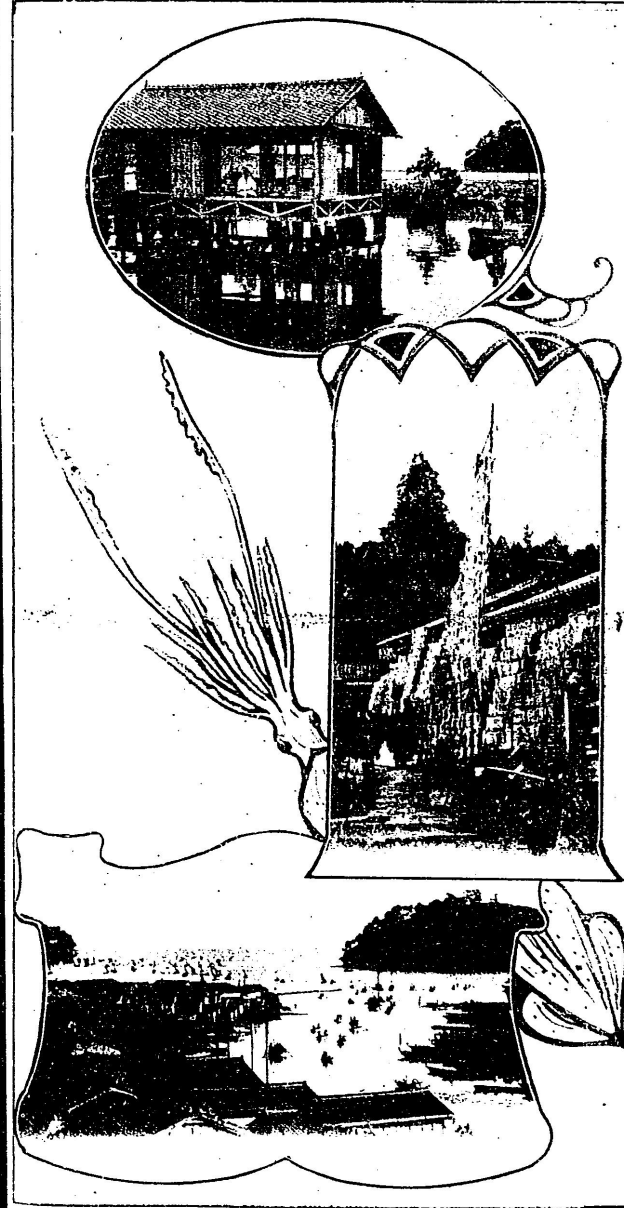
仁多郡 大原郡 飯石郡 簸川郡 安濃郡 邇摩郡 邑智郡 那賀郡 美濃郡 鹿足郡 隱岐郡 竹島



黒木村牧畑

隠岐は島後西ノ島中ノ島知夫里の四島に別れ百餘の小嶋が附屬して居る伯州境港から八束郡美保關を経て直航すれば僅かに六時間にて本島の首都西郷に達するのである本島の特産物は世に名高い隠岐・鯛と杉である年々鯛の産額は四十萬圓内外で杉の輸出は五六萬圓を下らない鯛に次で鯖・鰯・鮑・螺・蝶と石花菜和布等である海藻は其の質がよくて頗る豊富であるが未だ産額は多くない本島の杉は享保年間布施村藤野玄琢なる者が造林せしより始まつたものであるが地質が杉に適して極めて成長が速かである近年に至つて全島到る所杉苗の栽植が

隠岐



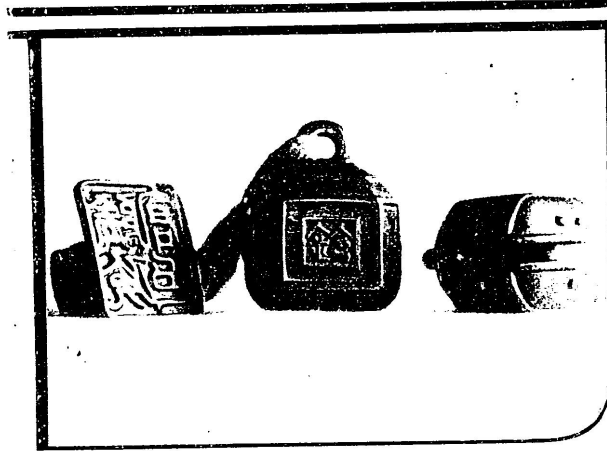
生洲鱗亭 鯛乾の状況 出漁の景(西郷港)



牛 鬪

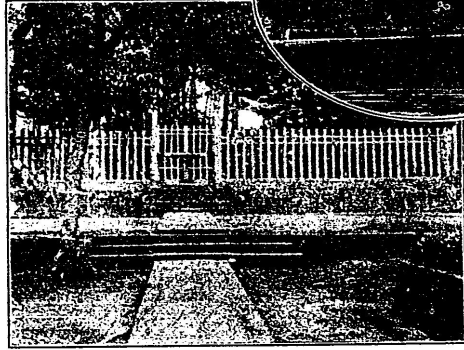
盛であるしかしその半面には耕地として相當の收益ある所迄杉を植栽する傾きがある普通農事が幼稚であり田面積が少ないので米は因伯より年年二萬石近く輸入を仰いで居る本島には全國に類例のない隠岐特有の牧畑なる耕作法がある其の方法は一字の畑地を放牧(大小麥(大小豆(粟稗)の四區に分割して輪轉し四年にて一回轉を終るのである此の目的は耕作を主とし放牧を副とし農作から生ずる雜草の繁茂と土地の瘠惡を放牧によつて補はんとする粗放農法で現今六十九箇所その面積約五千四百所餘である此の牧畑に放牧した牛は何等飼料を給せず厩舎に入れないのであるが強健で温順で労働に堪へ肉味も亦佳良であるので雲伯の奥部等に輪

出せられ好評噴噴である
 隠岐には名物として各地に鬪牛が行はれて居る其の昔後鳥羽上皇同地にて山野の群犢の戯れ居るを御覽あつて大に愛でさせ給ひしかば里人御心を慰め奉らんと多くの牛を集め鬪はしめたに濫觴したと言傳へられて居る伊豫御莊の鬪牛と共に並び稱せられて居る此の鬪牛の結果は愛牛となり種質の改良發達の因をなして居るものと思はれる
 西郷は本島の首都で日日伯州境との交通があつて人口三千五百餘全島廳警察署稅務署稅關支署監獄分監などがあつて繁華な市街である錫の漁獲盛な時季の出漁の光景は鳧鷗の群が飛躍するが如き壯觀である町の一端天神の林鱗亭と呼ぶ生洲は廣大

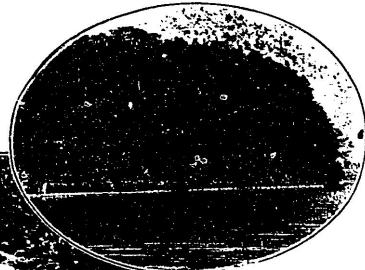


印倉岐隠と鈴驛

跡陵御院羽鳥後



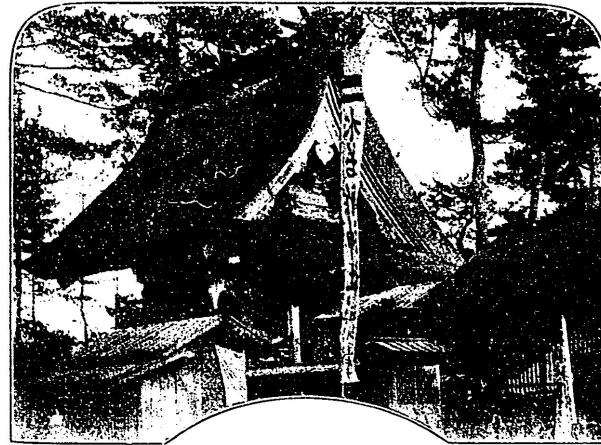
所御木黒



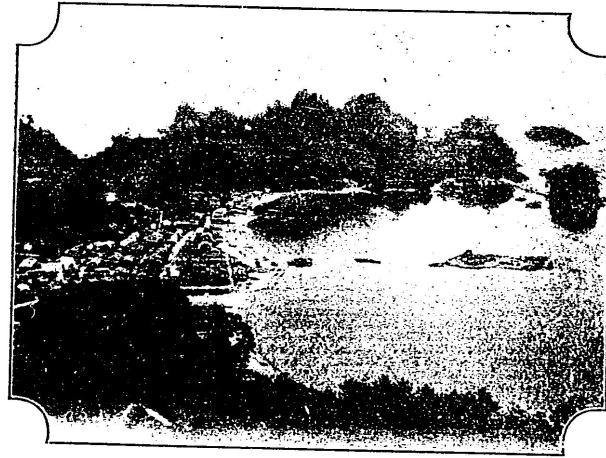
で四季鯛鯖其他大小の魚族濔瀾として游泳して居る綸を垂るれば忽ちに大魚を曳き揚げられ即席料理で膳羞に供せられるの快は都人士には想像し易からざる清興である

西郷を去る十八丁八田には農事試験場八田分場がある本分場は模範小作の經營農家經濟調査に力を注いで居る海士村の海士五箇村の北方に委託試験をやらして居るが頗る興味ある研究が行はれて居る

八田より約半里磯村の玉若醉命神社は島後の惣社であるが此の社の祠官なる億岐氏は億岐國造十揆彦命(事代主命の後裔の末裔で隱岐で隱岐第一の名閥家である同家には大化の新政以來驛符として用



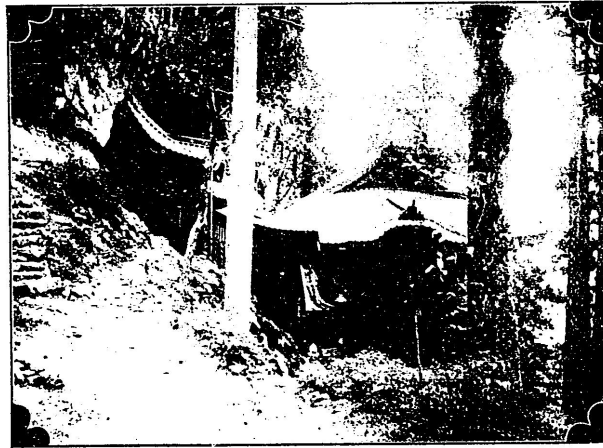
社神醉若水



模範村布施村遠景

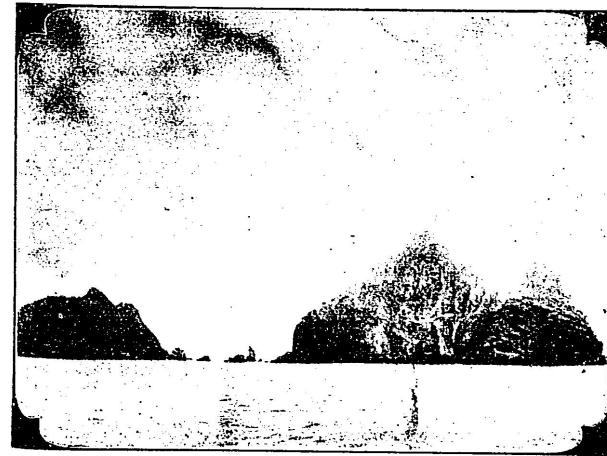
巖頭上に迫り老樹鬱蒼幽邃の別天地である
 西郷の北三里半なる布施村は明治三十四年模範村
 として表彰せられ杉の造林盛んで毎年三萬圓内外
 を輸出して居る村有財産は十萬八千餘圓であつて
 目下盛に道路及林道を布設して居る
 西郷より約二時間にて中ノ島なる菱浦に渡れば隱
 岐産牛馬組合事務所がある此の地には錫螺蝶の罐
 詰製造所がある菱浦から約一里なる海士には後鳥
 羽院の御火葬所行在所跡があつて四周の古松老杉
 は承久の昔を物語るの感がある御陵地の傍には先
 年皇太子殿下鬪牛を御覽あらせられた記念地が
 ある之より數丁に委託模範小作地がある
 海士には村上祐九郎とて島前第一の門閥家がある

祖先は後鳥羽院に奉仕し其の勳功により士班に列
 せられ院の御遺物なる經文宸翰銀瓶三十三體の佛
 像その他古書類古器を秘藏して居る今日にても御
 遺物拜觀を請ふものあれば衣を改めて拜觀せしめ
 て居る
 菱浦から小蒸汽船で別府に渡れば黒木の御所とて
 御醍醐天皇の行在所がある古松蒼鬱として岸打つ
 波は元弘の昔萬乗の君が悲惨なる詫住居のあとを
 さゝやくが如く覺えらる之より一里餘に浦郷とて
 小市街がある此の地方は隱岐中の産馬地で駿逸な
 ものが多い浦郷に達する半里前の船越には錫螺蝶
 の罐詰製造所がある此地には八十間程の地峽があ
 る出漁の際は數里の迂回を避けて皆舟を曳いて此



燒火神社

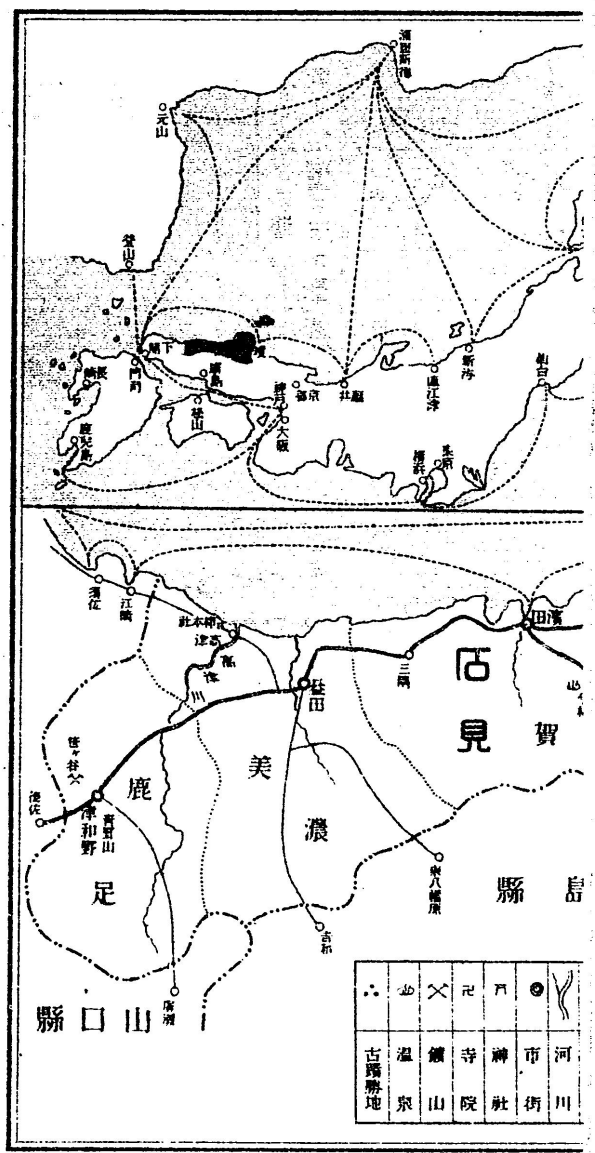
の地峽を越すので船越との名稱があるとのことである目下此の地峽開鑿の計畫がある浦郷の沖合には特に鱒の漁獲が頗る多い
 浦郷より小船に賃して波止と云ふ所に至り羊腸たる坂路を登る十八丁にして焼火山とて山腹に華麗な小祠がある展望開闢で舊記には一條院の御宇海中に異光を發すること連夜飛んで山嶺に至る里人堂宇を營み焼火權現として崇敬す云云とある毎年除夜知夫里依島から火光上るとして全島の人人は勿論他地方よりも御籠りと稱して群集するので社祠の傍に宏大な建物があつて數百人を宿泊せしむるの設備がある航行中航路を失ふ者祈願すれば必ず一點の光明針路を示すとて航海業者の信心厚く賽



島 竹

島根縣產業案内終

客絶えず日日參籠するもの尠くない後烏羽上皇流竄の砌風波の爲航路を失ひ給ひし時祈願せられしに風靜まりて光明を認めさせ給ひしと傳へられて居る
 焼火山の印は隱岐倉印と共に集古十種に掲載せられて居る
 隱岐を去る西北八十五海里日本海の中心にある竹島は日露戦争によつて廣く名を紹介せられた所で二箇の巖礁海面を抜く數百尺全島一の樹木なく飲料水もない岬峨たる斷崖絶壁峭立し寒潮その根を洗ひ處處に洞門がある海底極めて深く投錨に困難である馬島と共に海鱸の蕃殖地で數千の海鱸喧喧猶猶として居る西郷町の中井養三郎氏が經營せる竹島漁獵株式會社で捕獲に従事せられて居る



明治四十五年五月十八日印刷
 明治四十五年五月二十二日發行

島根縣內務部

印刷者 東京市日本橋區數寄屋町一番地 田山宗堯